

「自然体験活動指導者養成研修」【R2.8.13(木)～14(金)】

令和2年度 国立若狭湾青少年自然の家 教育事業

自然体験活動指導者養成研修

～「海」という自然にふれ、子どもと自然についての理解を深める2日間～

◆目的

- ・自然体験を通して、自然をしり、自然に興味を持つ機会を提供。
- ・自然体験に関するスキル（海の活動やキャンプ）を高める機会を提供。
- ・子供と自然との関係、教育における自然体験の意味を深める機会を提供。

◆参加実績（募集20名程度）

参加15名（男性8名 女性7名）

- ① 年齢 20代： 6名
 30代： 5名
 40代： 3名
 60代： 1名

② 職種別

- 保育園・幼稚園職員 5名
 青少年教育施設職員 1名
 青少年教育団体会員 9名



この研修では・・・

- 自然に対する理解を深め、自然体験（原体験）の機会を提供します。
- 自然体験に関するスキル（海の活動やキャンプ）を高める機会を提供します。
- 子どもと自然との関係、教育における自然体験の意味を深める機会を提供します。

～自然の中で、自然から学ぶ2日間。

体験を重視したアクティブラーニングの機会です！～

場所：国立若狭湾青少年自然の家 〒917-0198 福井県小浜市田島区大浜

日時：2020年8月13日(木)～8月14日(金)

(日帰りでの参加も可能です。)

参加対象：保育士及び幼稚園教諭、小学校教諭、幼児教育関係者等、
または、教育や自然体験活動に興味のある大学生 20名程度

参加費：3,000円(食費、保険料、教材費等)

主催：国立若狭湾青少年自然の家

後援：福井県教育委員会・小浜市教育委員会 (申請予定)

◆プログラム

<1日目>

AM

- ・シーカヤックの操船方法及び安全確保の仕方を体験

PM

- ・シーカヤックで宮の浜まで渡海
- ・シュノーケリングの活動及び安全確保の仕方を体験
- ・野営地の設置・野外炊飯の方法及び安全確保の仕方を体験
- ・普段の活動や1日目の体験で感じたことを参加者間で共有する話し合い



< 2日目 >

AM

- ・シーカヤックで宮の浜から自然の家まで渡海
- ・飛び込み等の水場体験及び安全確保の仕方を体験



PM

- ・2日間を通しての感想や今回の体験をどのように活かしていくのかを参加者間で共有する話し合い



◆成果

- ・アンケート結果より8割以上の参加者が事業に対して満足と回答していることから、若狭湾の自然の美しさ、体験活動への興味を持ったことがうかがえた。
- ・体験活動後の話し合いの中から、自然体験でしか得ることが出来ないことを実感しこれからどのように活かしていくか参考になる体験を提供できた。
- ・新型コロナウイルスの中体験活動を提供するには、どのような配慮が必要か体験し提供することができた。

◆参加者の声

- ・普段の生活とは違った環境での体験は、子供たちにとって得難い時間になるのを感じた。
- ・普段活動しているエリアと違った場所で参加者としての体験だったので、非常に楽しかった。また、指導者目線としても非常に刺激になった。これからの指導に生かしていきたい。
- ・新型コロナウイルスの中で、なにもかも中止にするのではなく、安全と対策のポイントを抑える事でイベントを行うことは大切な事だと改めて実感した。
- ・普段の活動フィールドは山林でしているが、今回の研修をきっかけに海も活用していきたい。
- ・目の前の危険に対して、どのように危険なのか、また、どのように対処するのかを学べたのでこれからの活動にいかしていきたい。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- ・地域の特性（若狭湾）を生かした自然体験活動（シーカヤック・シュノーケリング・水辺体験）、地域の特性を發揮することができた。
- ・プロのガイドを入れることで、自然体験の楽しみと安全性について深く学ぶことができた。
- ・新型コロナウイルス対策として、事業一週間前から参加者には、毎日の検温や体調管理を依頼し、受付時にも検温と体調確認書を提出してもらい参加者の体調把握に努めた。また、野外泊の際1人1テントでの宿泊や参加者間のスペース等に配慮し、貸出物品に対するの対応等も周知することができた。

◆事業運営費	合計	192,585円
講師謝金・旅費	2名	144,034円
消耗品費		44,747円
通信運搬費		262円
印刷費		3,542円